

(環境省)環境情報の利用促進に関する検討委員会

# 環境情報活用の現状と課題

～ 情 報 開 示 と 企 業 価 値 評 価 ～

---

**大和投資信託**

Daiwa Asset Management

エクイティ運用部 菊池勝也

2011年9月27日

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

当資料は、大和証券投資信託委託株式会社により作成されたものであり、情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。

当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

当資料の意見に関わる部分については、作者個人の見解であり、作者の所属する大和投資信託の見解を示すものではありません。

# 目次

---

1. 環境情報をどのように入手するか

2. 環境への関心・注目度

3. 環境情報利用促進への課題

4. 環境情報開示の視点

## 環境情報をどのように入手するか(その1)

- ・(機関)投資家は、下記の媒体や調査を通して、環境情報を入手している。
- ・情報量は、「CSR報告書」が豊富ではあるが、内容・比較可能性・使い勝手などが課題。
- ・環境情報全体として、情報の入手コスト(経済・時間)が高い。

### 環境情報の入手先

- CSR報告書
- 有価証券報告書(対処すべき課題、事業等のリスク、研究開発活動 などの箇所)
- 企業のIR資料
- 調査会社のレポート
- 証券会社のレポート
- CDP (Carbon Disclosure Project) などのデータ
- 新聞・雑誌など一般報道
- インハウスの調査
- その他

## 環境情報をどのように入手するか(その2)

環境情報をどこから・どの程度入手しているかのイメージ( > > > × の4段階に分類)

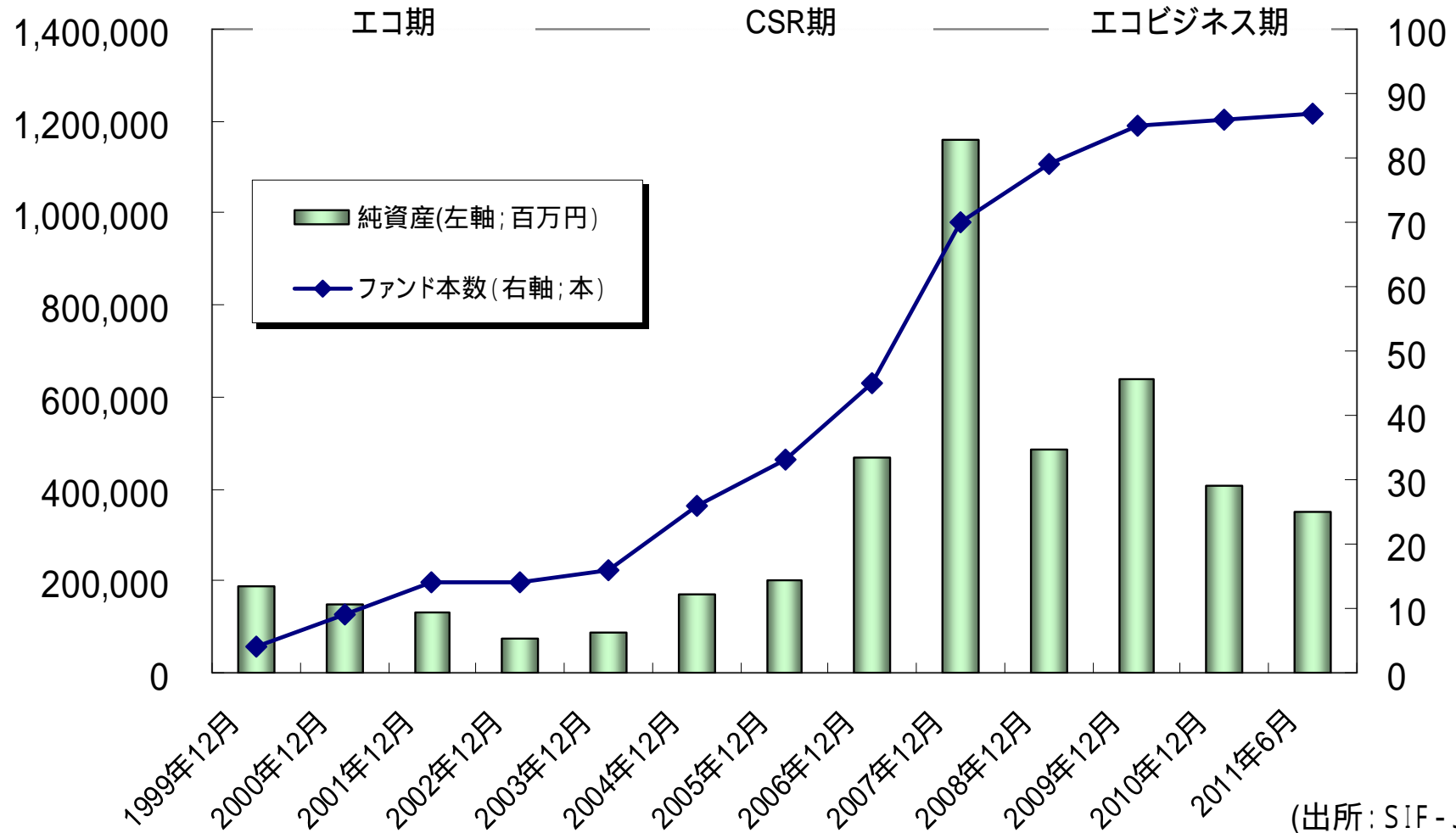
	オポチュニティ情報	リスク情報
<input type="checkbox"/> CSR報告書		
<input type="checkbox"/> 有価証券報告書	×	
<input type="checkbox"/> 企業のIR資料		×
<input type="checkbox"/> 調査会社のレポート		
<input type="checkbox"/> 証券会社のレポート		×
<input type="checkbox"/> CDPなどのデータ		
<input type="checkbox"/> 新聞・雑誌など一般報道	?	?
<input type="checkbox"/> インハウスの調査		

(出所:大和投資信託作成)

表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

# 環境への関心・注目度

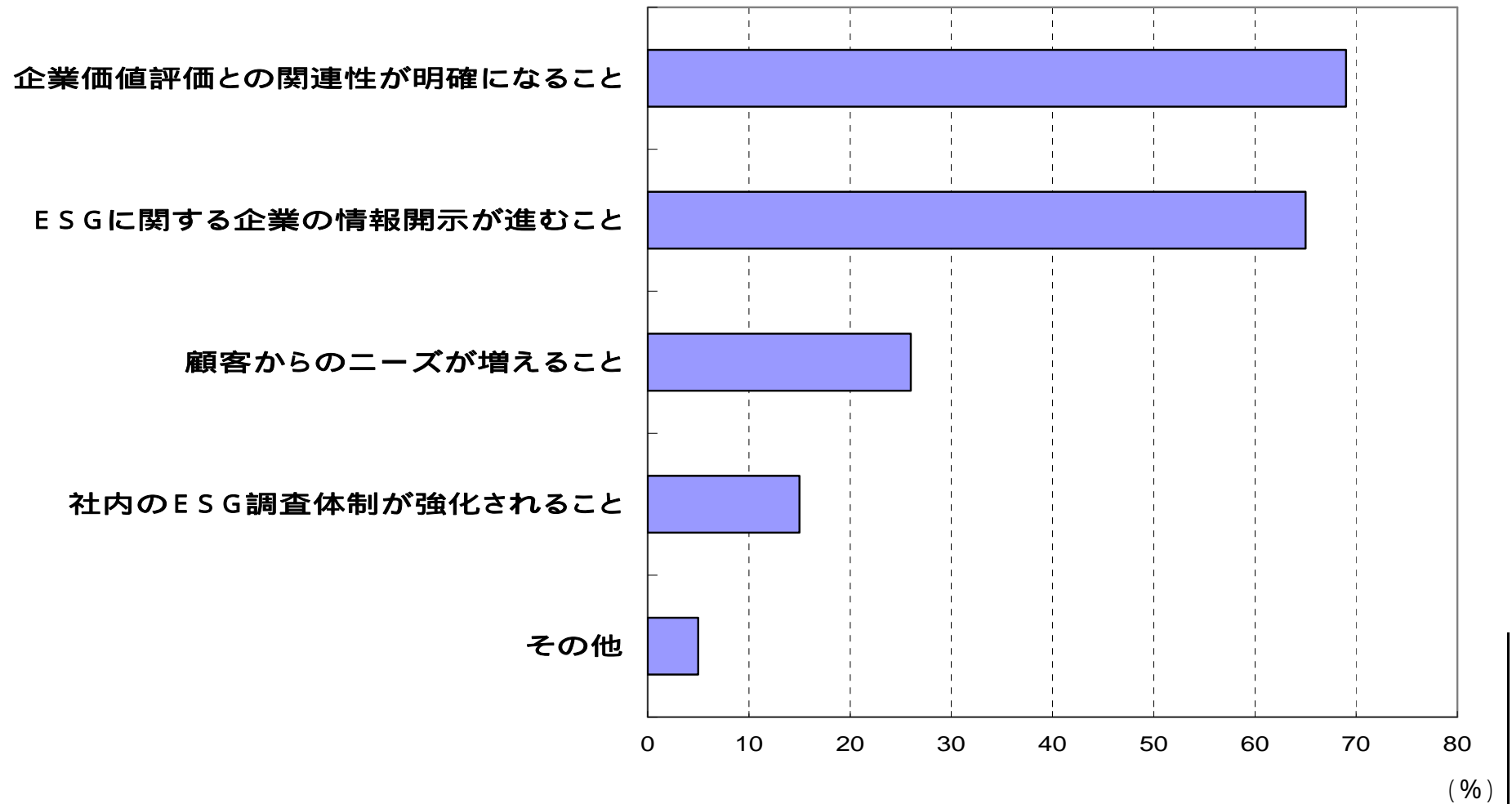
## SRI投信(公募)の純資産とファンド本数推移



(出所: SIF-Japan)

# ESG情報の現状認識

## 企業評価にESG要因を用いるための課題



(出所: 日本証券アナリスト協会「企業価値分析におけるESG要因」)

# 環境情報利用促進への課題

1.経営戦略への織り込みとIRの場での情報発信

2.活用できるデータがすでにあるのでは？

温対法、東京都など自治体の条例 など

3.データの重要性:タテとヨコの比較

時系列分析とクロスセクション分析

4.財務データとの「統合」

売り上げへの貢献、コスト削減への貢献・・・

5.発信される情報の関連付け

参照先を明示(有報とCSR報告書 など)

# 環境情報開示の視点

## 基礎情報として3つの視点が必要では

### 1. 経営そのものに関する情報(環境をいかに・どこに織り込んでいるか)

… 環境への取り組みの方針、長期のあるべき姿、定量目標、トップのコミット など

### 2. 「環境経営」の進捗を確認する情報

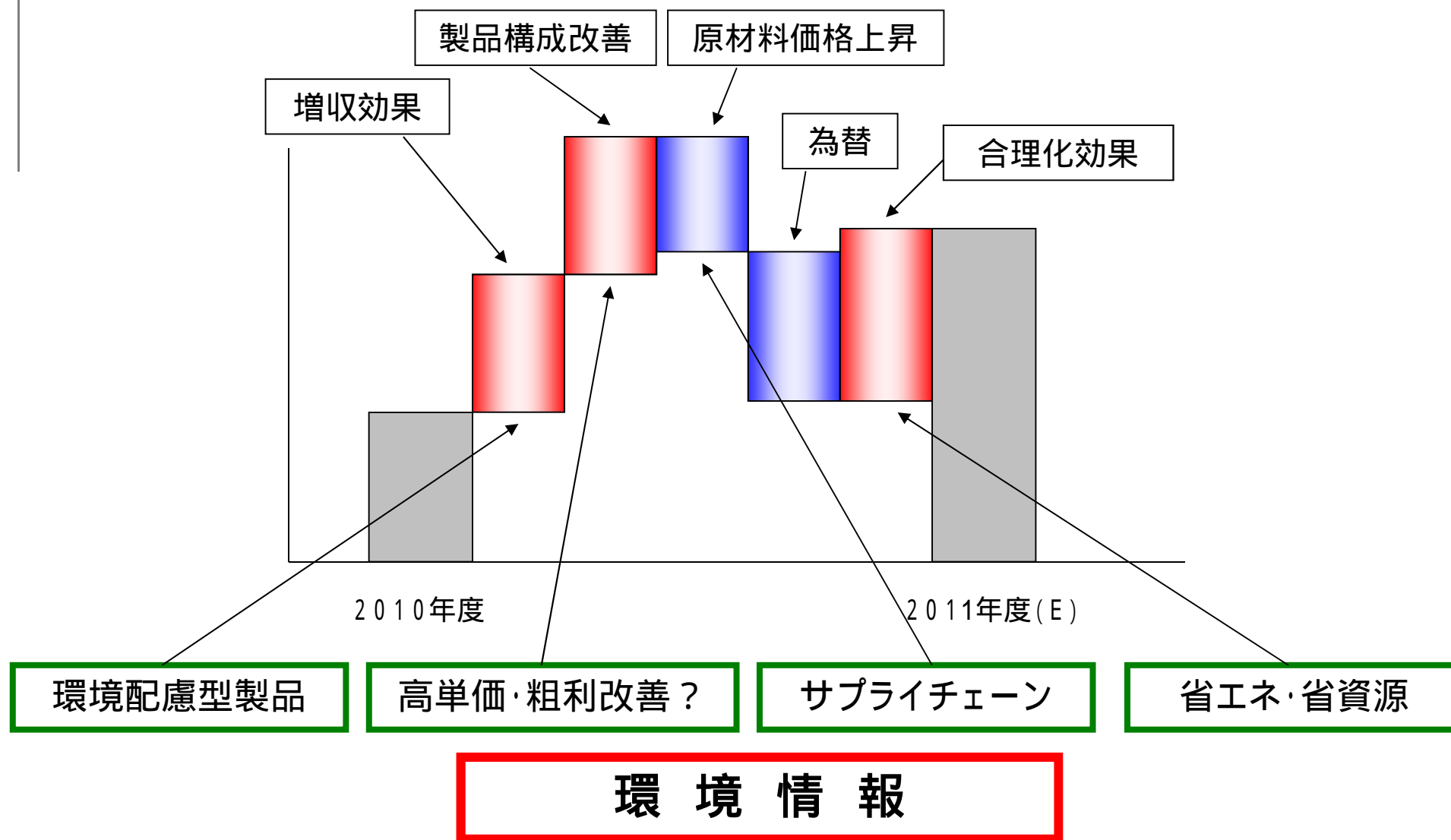
… 各種効率指標(ファクター)、GHG、社内体制の整備・教育、社としてのメッセージ など

### 3. オポチュニティとリスクに関する情報

… 製品・サービス、研究開発、規制対応、ステークホルダーとのコミュニケーション など



# (ご参考) 仮想A社(製造業)の利益増減分析(イメージ図)



表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ご清聴有難うございました。